






昨年のホットなストレージ技術審査を採点する

「予想というのは、それが未来に関することとなると特に難しくなる」MLBの往年の名選手ヨギ・ベラはかつてこう語ったという(訳注:ヨギイズムといわれる迷言のひとつ?)。昨年の予測でAを取ったものもある一方で、開花するには時期尚早の技術のため、自分たちの選択をCとせざるを得ないものもいくつかあった。それでも打率はかなりなもので、我々は今年もこの調子で2017年のホットなストレージの打順を組むのが楽しみだ。

成績	ストレージ技術	結果はいかに？
 A	コピーデータ・ マネジメント	コピーデータ・マネジメントは、ホットなストレージ製品の事実上のトップスターだ。一年前、市場にはわずかにこの製品分野のパイオニアActifioとベンダー数社の製品しかなかった。今では、どのバックアップ製品もCDM機能を備えている。
 A	ソフトウェア定義の ストレージ アプリケーション	我々は天才かベンダーの宣伝に載せられているのだろう。今はどの製品も「ソフトウェア定義のストレージアプライアンス」と言っている。いずれにせよ2016年、SDSはかなりのブームと興味を市場に作り出した。
 B+	オブジェクト・ ストレージ	まだ完全にテイクオフしたとは言えないかもしれない。しかし、オブジェクト・ストレージはスケールアウトNASの代替製品としてとして自らの地位を確固たるものにした。2016年オブジェクト・ストレージを買わなかった皆さんも、2017年には購入することだろう。
 C+	消失訂正符号	我々は消失訂正符号がデータ保護の市場からRAIDを駆逐する現場を目撃する準備はできていたのだが。世間で言われているように、RAIDの死についての記事はかなり誇張されている。
 C+	次世代 ストレージネットワーク	2016年年末。みなさんのストレージネットワークは、FCならば32Gbps、Ethernetならば25Gbps、50Gbps、さらには100Gbpsでデータをビュンビュン飛ばしているだろうか?いや、どうやらそうではないようだ。我々はこれについては、はずした。2018年にくるかも。